

第9回 女性教員のための体育研修会 実施報告

1 ねらい

- ・女性教員を対象にすることで、誰もが参加しやすくするとともに、日頃の体育学習に関する悩みを気軽に話せる機会をつくる。
- ・女性教員が体育についての研修を深めることで、県下全体の体育学習のレベルアップを図る。

2 日時 平成28年8月10日(水) 9:30~16:00

3 主催 山口県教育委員会
山口県小学校体育連盟・山口県小学校教育研究会体育研究部

4 会場 やまぐちリフレッシュパーク

5 参加者 山口県内女性教員・大学生 86名

6 講師 山口大学教育学部附属山口小学校 有田敏広 教諭 紀村修一 教諭

7 内容 テーマ「体づくり運動領域・ゲーム領域」

第1部 講義・実技指導 紀村修一先生(9:40~11:40)

はじめに、体づくり運動領域についてパワーポイントによる講義が行われた。ここでは、学習指導要領に示してあることや、「気付き・調整・交流」という大切な視点について説明があった。実技指導では、講義の内容を踏まえ、実際の授業の進め方について触れながら、いろいろな活動をテンポよく紹介していただいた。自分の体の調子を知るために、顔をさわってみる、脈を測ってみる活動もあり、運動前と運動後の体の変化にも目を向けることの大切さを教えていただいた。その後、ストレッチやリズムジャンプ(指示を聞いて前後・左右に動く運動)、透明なわとびなど、すぐにできそうな運動を体験したが、自然と参加者の方から笑顔が生まれ、心も体もほぐされていくのが伝わってきた。新聞紙を使った運動では、ストレッチで座ったまま体を倒す時に使えること、自分の体に新聞紙を当てて走る、丸めてボールにしてキャッチするなど、いろいろな活用方法を紹介された。ボールを使った運動では、いろいろな種類のボールがあり、自分たちで選んでキャッチボールをしたり、二人組で運び方を工夫したりする活動があった。手を使わない、床につけないなどの条件をつけることで、方法を工夫するなど楽しさが広がることも教えていただいた。玉入れの球では、自分の腕でサークルゴールを作り、そこにうまくゴールさせたり、投げて手をたたいてキャッチするなど楽しい活動があった。フープを使った運動では、二人組で工夫しながら、投げたフープを腕に通したり、体に通したりして楽しく運動することができた。随時、子供への声かけや価値付けの仕方を紹介したり、方向・姿勢・人数を変える、人の動きをまねる、失敗しても大丈夫という雰囲気づくりをするなど、体づくり運動を行う時のポイントを説明したりしながら進めてくださったので、参加者は、実際の授業場面を思い浮かべながら実技を体験することができた。



第2部 講義・実技指導 有田敏広先生（12:40～14:00）

はじめに、ゲーム領域についてパワーポイントで講義が行われた。ここでは、「仲間と得点を競い合う楽しさ」を子供たちに味わわせるための指導方法の工夫や、ゲーム領域の内容について説明をされた。また、指導内容（学習内容）をおさえて指導するために、「ボール運び鬼」を例に挙げて、技能、態度、思考・判断について、どうとらえるとよいかを分かりやすく教えていただいた。実技指導では、チームで列になって前後・左右に動いたり、二人組みでタグを取り合ったりする楽しい準備運動を紹介された。そして、ボール運び鬼とフラッグフットボールを基にした易しいゲームの実技を通して、指導のポイントを学んだ。低学年から中学年という系統性を意識した実技指導であり、参加者にとって、とても分かりやすい内容であった。また、誰でも得点できる楽しさを味わわせるために3対2で行うことや、攻め方を話し合う場の設定、子供に実際に活動させながらのルール説明の仕方や、声かけの仕方などの紹介もあり、実際の授業ですぐに役立つことをたくさん教えていただいた。



フリートーク&ティータイム（14:00～14:40）

参加者の方々は、好きなケーキを食べながら笑顔で話をされていた。講師の先生方に、日頃の体育の授業についての悩みを相談される方もおられ、有意義な時間となった。



第3部 講義・実技指導 有田先生（14:40～15:40）

並びっこキックベースボール、キックベースボール、ティーボールについて、実技を通して、どのように指導していくとよいかを教えていただいた。並びっこキックベースボールでは、ボールを捕った人の後ろに全員が並び、打者は1点、2点、3点のコーンを回るなど、ルールや場の工夫を紹介していただき、みんなが楽しく運動できることを体験できた。その発展としてのキックベースボールでは、フープを取り入れ、置く場所を工夫しながら楽しく運動することができた。



ティーボールでは、まず、参加者全員が打つ練習を行い、その後、ゲームの進め方を教えていただいた。ベースの変わりのコーンの置き方や、打った後のバットの置き方なども紹介していただき、参加者の方からは、とても参考になったという声がたくさん聞かれた。第2部同様、低学年から中学年へという系統性を意識した流れであったので、参加者の方は、実際の授業でどのように取り入れていくとよいかを考えることができた。

